

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市演劇練習館

団体名：公益財団法人名古屋市文化振興事業団

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

<基本方針>

- ・「名古屋市文化振興計画 2020」などを踏まえた魅力あふれる施設運営を行い、市民の皆さまにより多くの感動と信頼をお届けする。
- ・文化芸術団体の現状や課題に寄り添った事業やサービスを提供する。

②管理運営体制

<職員配置・養成>

- ・館長、副館長を始めとして、お客さまの施設利用に十分対応できる配置体制を整える。
- ・全職員が能力を開発・発揮できるよう、多様な養成プログラムを実施し、快適な施設運営につなげる。

<情報の保護・公開>

- ・事業団情報保護規程等、諸規程を整備・運用し、ホームページや印刷物上でのプライバシーポリシーの公開や、電子情報保護のための徹底したセキュリティ対策等に取り組む。
- ・事業団情報公開規定を定め、公益財団法人の情報公開に関する基準に則り、ホームページ上での法人情報公開等の取り組みを実施する。

<法令遵守（コンプライアンス）>

- ・事業団倫理規定により職員の行動基準を明確化することによって、倫理意識を自覚させ、市民からの信頼獲得を目指す。

<施設の平等利用>

- ・インターネットによる時間や場所に制約されない受付等、窓口での申込みに限らない多様な受付方法や、誰でも申し込める工夫など、施設の平等利用の確保に努める。
- ・苦情要望に対して誠実に対応し、内容を分析して職員全員で共有することで再発防止につなげる。

(2) 実施業務の計画について

①指定管理業務

＜一般の施設利用に供する業務＞

- ・施設貸出し業務、施設管理業務、施設利用打合せ業務、情報提供業務、問合せ・要望苦情等対応業務、利用促進業務 等

＜施設維持管理・安全管理＞

- ・管理の実績・ノウハウに基づき、施設独自の特性を把握したうえで、常に施設のベストコンディションを維持し、予防保全に努める。
- ・名古屋市認定エコ事業所として、省エネルギー、リサイクル等の環境保全に取り組む。
- ・事故・自然災害等、あらゆる危機を想定して、日常点検や防災訓練等の予防・事前準備により安全対策を実施し、館長を中心とした緊急時即応対策を整備する。

＜文化芸術団体支援＞

文化芸術団体への効率的な活動支援を目的に以下の取り組みを実施する。

- ・利用延長対応や小道具類の無料貸出など、文化芸術団体のニーズに沿ったサービスにより、活動に集中できる環境を提供する。
- ・機関紙アクテノン等により、名古屋演劇界の情報や演劇練習館利用者の情報を発信する
- ・名古屋と周辺地域の演劇公演情報を収集し発信する。

＜次世代の育成＞

子どもや若者が多様な文化に親しみ創造性を発揮し、表現する力を育むことを目的に以下の取り組みを実施する。

- ・子どもたちを対象としたミュージカル教室を実施する。
- ・地域で活動しているボランティア団体が講師を務め、子どもたちが様々なジャンルを体験できる体験事業を実施する。
- ・若手演劇人を演技・演出・技術などの様々な面から育成するワークショップを実施する。

＜施設の活用＞

市民が多様な文化に親しみ、参加・交流する場を創出することを目的に以下の取り組みを実施する。

- ・施設全体を活用して、利用者の稽古の様子を公開や体験もできる観覧会を実施する。
- ・和室を活用した茶会を実施し、多様な機会から生活文化や演劇等の舞台芸術にふれる機会を提供する。

＜屋外劇場等の活用＞

屋外劇場や資料コーナーを有効活用することを目的に以下の取り組みを実施する。

- ・演劇練習館の利用者に屋外劇場で発表する機会を提供する。
- ・資料コーナーで地元演劇団体・演劇人・文化団体等の活動や作品を広く紹介する企画展を開催する。

<地域団体との連携>

他の文化施設や文化団体、舞台芸術団体等との連携を目的に以下の取り組みを実施する。

- ・地域団体とともに、若手の教員らが演劇を取り入れた指導法を学ぶ体験型講座を実施する。
- ・地元の大学生が講師となり、子どもたちを対象とした体験型ワークショップを実施する。

<アウトリーチ事業>

演劇等に親しむ人づくりを目的に以下の取り組みを実施する。

- ・これまで多くの団体と構築してきた事業団のネットワークを活かし、地域で活躍している各分野のスペシャリストと連携する。
- ・演劇練習館を練習拠点としている文化団体を地域の方が集まる施設などへ派遣し、イベントを盛り上げる。

<サービス向上策>

- ・小道具の無料貸出しなど施設利用者へのサポート体制を充実。
- ・深夜24時までの利用延長対応・支援を継続。
- ・満足度調査等の実施により利用者の意見を把握し、サービスの向上と改善につなげる。

<利用促進策>

- ・様々な媒体を活用した施設・事業の広報や積極的な営業活動により、施設のPRや利用促進に努める。
- ・演劇練習館の利用方法を提案する場として、主催事業を積極的に活用する。

②自主事業（実施している場合）

<施設利用者利便性向上のための方策>

- ・ごみ処理：利用時に出たゴミの代行処理。
- ・コピー、ファクス：コピーやファクスのサービス。
- ・チケット販売：利用者の公演チケットを事業団管理施設で販売。

（3）収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<各年度の提案総額> (単位 千円)

年 度	金 額
30年度	42,661
31年度	42,661
32年度	42,661
33年度	42,661
34年度	42,661
合 計	213,305

<期間を通じた収支計画>

【収入】

(単位 千円)

費 目	内 容	金 額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	213,305
利用料金収入	ホール・練習室・附属設備等	71,665
事業収入等	主催事業収入、自動販売機収入等	2,835
収 入 計		287,805

【支出】

(単位 千円)

費 目	内 容	金 額
人件費	職員人件費	142,865
光熱水費	電気・ガス・水道料金	41,565
事務費	消耗品・通信費・印刷費等	8,790
管理費	修繕費、委託料等	62,830
その他経費	主催事業費、保険料、租税公課費等	31,755
支 出 計		287,805

<利用料金の設定>

1. 施設の利用料金

基準額以外の利用料金設定なし

2. 附属設備の利用料金

基準額以外の利用料金設定なし

3. 利用料金の納期

本申込みと同時